

令和4年度第1回
東京都歯科保健対策推進協議会
会議録

令和5年3月29日
東京都福祉保健局

(午後 1時58分 開会)

○田村歯科担当課長 皆様、音声は聞こえておりますでしょうか。大丈夫ですか、ありがとうございます。

若干早い状況ではございますが、皆様入られておりますので、開始したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。では、よろしく申し上げます。

それではこれより、令和4年度第1回東京都歯科保健対策推進協議会を開催いたします。委員の皆様方には、ご多忙中にもかかわらず、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

私は、医療政策部歯科担当課長の田村でございます。議事進行を座長にお願いするまでの間、司会を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、ウェブ会議での開催としてございます。円滑に進行できるよう努めますが、会議中、機材トラブル等が起きる可能性もございますので、何かありましたら、その都度ご指摘いただければと存じます。

会議時間でございますが、1時間程度を想定しております。そのため、事前の意見提出など、ご協力をお願いしたところでございますが、円滑な意見交換が行えますよう、よろしくお願いいたします。

また、皆様に2点ほどお願いがございます。ご自身が発言される時以外は、マイクはミュートにさせていただきたく、お願いいたします。また、発言される際には、冒頭に所属とお名前をおっしゃっていただければと思います。

それでは続きまして、お配りしてございます資料1をご参照ください。

こちらは本協議会の設置要綱でございまして、第8にございまして、本会議は公開とさせていただきます。また、記録のため録音いたしますこと、あらかじめご了承をお願いいたします。

なお、全庁の方針により、情報公開の観点から、本会においても、会議資料や発言者名を含む会議録全文については、東京都のホームページに公開する予定でございます。

それでは、開会に当たりまして、医療政策担当部長の鈴木よりご挨拶を申し上げます。

○鈴木医療施策担当部長 皆様、こんにちは。医療政策担当部長の鈴木でございます。

委員の皆様方には年度末のお忙しい中、この東京都歯科保健対策推進協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本協議会は、歯科口腔保健の推進に関する法律や、東京都歯科保健推進計画に基づき実施する都民の歯と口の健康づくり対策を推進するため、総合的な協議を行う場として設置されてございます。

本日は、6月に開催いたしました保健所推進計画検討評価部会のご報告と、次年度の計画改定に向けて今年度実施した、東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」達成度調査に関する実施状況の報告、そして令和4年度と令和5年度の歯科保健医療関係事業につきましてご報告させていただきます。どうぞ皆様の忌憚のないご意見を賜ればと考えて

ございます。どうぞ最後までよろしく願いいたします。

簡単でございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。以上でございます。

○田村歯科担当課長 本日の会議の資料でございますが、委員の皆様には、メールにて送付をさせていただきます。

次第に記載のとおり、資料1から資料5、参考資料1から参考資料3となっています。

なお、直前にご提出いただいたご質問、ご意見については、後ほど議事の中で説明をさせていただきます。

次に、本協議会委員につきまして、資料2の委員名簿に沿って順次、紹介をさせていただきます。一言ご挨拶いただけますでしょうか。

公益財団法人東京都結核予防会、笹井委員でございます。

○笹井委員 笹井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 国立保健医療科学院、福田委員でございます。

○福田委員 福田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 東京歯科大学社会歯科学講座、平田委員でございます。

○平田委員 平田でございます。よろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 公益社団法人東京都医師会、鳥居委員でございます。

○鳥居委員 東京都医師会の疾病対策担当理事の鳥居でございます。よろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 公益社団法人東京都歯科医師会、勝俣委員でございます。

○勝俣委員 勝俣でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 公益社団法人東京都学校歯科医会、澤田委員でございます。

○澤田委員 澤田でございます。よろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 公益社団法人東京都歯科衛生士会、藤山委員でございます。

○藤山委員 東京都歯科衛生士会、藤山です。よろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 一般社団法人東京都歯科技工士会、石川委員でございます。

○石川委員 東京都歯科技工士会の石川です。よろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 一般財団法人日本口腔保健協会、児玉委員でございます。

○児玉委員 日本口腔保健協会の児玉と申します。本日はよろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 東京都社会福祉協議会、田中委員でございます。

○田中委員 東京都社会福祉協議会の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 歯の健康を考える自主グループ「いい歯ね☆あだち」、田中委員でございます。

○田中委員 歯の健康を考える自主グループ「いい歯ね☆あだち」の田中です。

○田村歯科担当課長 足立区保健所、水口委員でございます。

○水口委員 水口です。よろしくお願いいたします。

○田村歯科担当課長 福生市福祉保健部、瀬谷委員でございます。

- 瀬谷委員 瀬谷でございます。よろしくお願いいたします。
- 田村歯科担当課長 目黒区感染症対策課の滝川委員でございます。
- 滝川委員 目黒区の滝川です。よろしくお願いいたします。
- 田村歯科担当課長 東京都教育庁地域教育支援部、岩野委員でございます。
- 岩野委員 教育庁地域教育支援部の岩野でございます。よろしくお願いいたします。
- 田村歯科担当課長 ありがとうございます。

本日の出席状況でございますが、全員参加をいただいております。

続きまして、議事に入ります。議事に先立ちまして、本協議会の座長を選任したいと思っております。選任については、資料1、設置要綱の第5にございますとおり、委員の皆様との互選によることとなっております。どなたか、ご推薦いただけますでしょうか。

- 勝俣委員 はい。
- 田村歯科担当課長 ありがとうございます。それでは、勝俣委員、お願いいたします。
- 勝俣委員 はい。公益財団法人東京都結核予防会理事長である笹井委員を推薦いたします。
- 田村歯科担当課長 勝俣委員、ありがとうございます。それでは、ただいま笹井委員とのご推薦がありましたが、皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

- 田村歯科担当課長 皆様、ありがとうございます。それでは、笹井委員に座長をお願いしたいと思います。また、設置要綱によりまして、副座長を座長が指名するとなっております。笹井委員、どなたかご指名をお願いできますでしょうか。
- 笹井委員 それでは、福田委員にお願いいたします。
- 福田委員 承知いたしました。
- 田村歯科担当課長 それでは福田委員、どうぞよろしくお願いいたします。これ以降につきましては、笹井座長に進行をお願いしたいと存じます。笹井座長、どうぞよろしくお願いいたします。
- 笹井座長 では、改めまして、公益財団法人東京都結核予防会の笹井でございます。ただいまご選任をいただきまして、ありがとうございます。都民の歯と口の健康づくり対策の推進に向けて、皆様と議論を進めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ではこれより、早速ですが、議事を進めていきます。報告事項の1点目、東京都歯科保健推進計画検討評価部会の報告についてでございます。

では、事務局から説明をお願いいたします。

- 事務局 事務局です。それでは、歯科保健推進計画検討評価部会のご報告をさせていただきます。まず、資料の3-1、次第をご覧ください。

本評価部会につきまして、令和4年6月にウェブ形式で開催いたしました。令和4年度東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」達成度調査の実施について協議させていただ

いております。

こちらの達成度調査については、現行の東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」が令和5年度に終期を迎えることから、今年度に評価を行うため調査を実施させていただいております。

続いて、資料3-4、達成度調査についてをご覧ください。

こちらが、令和4年度の実施概要、調査の概要をお示したものでございます。こちらの内容に基づいて、現行の歯科保健推進計画から東京都として取り組むべき新たな項目となりました、障害者に対する歯科保健医療の提供状況や、障害者施設や障害者施設の医療者の現状、口腔衛生管理に関する意識等の実態を確認・把握する「東京都における障害児（者）の歯科保健医療に関する実態調査」と、またこちらの現行計画の策定時実施をいたしました達成度調査では、一部の大学の学生のみを対象としていた調査であり、今回はより多くの方を対象にした調査へと変更させていただいた「青年期実態調査」について、その調査対象や調査票等を協議いただき、ご承諾いただいたところでございます。

ご説明は以上となります。

なお、評価部会の委員である東京都歯科医師会理事の高品先生が、令和5年1月12日にご逝去されましたので、お知らせいたします。謹んでお悔やみを申し上げますとともに、故人様のご冥福をお祈り申し上げます。以上でございます。

○笹井座長 ありがとうございます。私からも高品先生のご冥福をお祈り申し上げます。

この部会につきましては、部会長を福田委員にお願いしているということでございますので、福田委員、何かご追加はございますか。ありましたら、どうぞお願いいたします。

○福田委員 ありがとうございます。改めまして、歯科保健推進計画検討評価部会長を務めております、国立保健医療科学院の福田でございます。

本年度当初、令和4年6月に部会を開催いたしまして、この資料にもございます9つの調査に関します調査項目の確認と決定を行いました。

これら調査の実施状況及び来年度におけます本評価部会の活動予定につきましては、後ほど事務局から説明をいただけたらと思っております。引き続きまして、委員の先生方のご支援とご協力のほど、よろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

○笹井座長 ありがとうございます。今回については、調査の実施の時期について事前に委員からご質問いただいていると聞いておりますが、次の議題と関連する内容でございますので、この後の事務局の説明で補足をするということのようですので、回答はこの先の報告でさせていただくことといたしまして、そのほかご意見やご質問がございましたら、ご発言のある方は挙手またはお声をかけてください。どうぞお願いいたします。

いかがでしょうか、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

では続いて報告事項の2点目、東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」達成度調査の

実施状況についてでございます。事務局から説明をお願いいたします。

- 事務局 それでは、東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」達成度調査の実施について、報告させていただきます。まず、資料4をご覧ください。

令和4年度に実施いたしました達成度調査の実施状況について記載した資料となっております。資料2 実施状況のとおり、全9調査を実施いたしました。

現在、調査結果の解析と報告書をまとめる作業を行っているところでございますので、本資料においては、各調査の概要、調査対象・実施方法、それから調査依頼数、実施時期を記載しております。

なお、先ほど委員の方からご質問をいただいたということで笹井座長からお話いただきましたが、内容としては調査の実施時期について、先ほどご報告いたしました評価部会で予定していた時期から遅れが生じている調査が幾つかあるということで質問としていただいております。

こちら回答といたしましては、各調査とも、調査対象を所管する庁内部署や区市町村所管部署、学校や各施設等といった調査依頼先、そして調査票の検討や発送準備に係る委託業者との調整などに想定よりも時間を要したことが影響しております。なお、このうち、No.1の幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査については、資料3では、7月～8月の実施と予定していたところ、資料4では、6月～10月として期間が拡張されているように見えますが、こちらは、調査対象が年齢ごとに分かれることに加え、対象が在籍する公立・私立の幼稚園・保育所等の所管部署が異なることから対象ごとに調査期間が異なっています。当該資料では、各対象への調査の実施期間を一まとめにして記載しているため、現在のような記載となっております。実際には、各調査とも3週間～4週間程度の期間で実施しているところです。

続きまして、3には、今後のスケジュールを記載しております。

現在、行っている達成度調査の結果報告と、達成度の評価については、令和5年5月末に開催する第1回東京都歯科保健推進計画検討評価部会で実施する予定です。以降、年間で検討評価部会を3回開催し、次期東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」の素案を作成し、1月のパブリックコメントに付した上で、令和6年2月に開催を予定する本協議会での協議を経て、令和6年3月策定となる予定であります。

東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」の実施状況に関するご報告は以上でございます。

- 笹井座長 どうもありがとうございました。

東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」達成度調査の実施状況についてでございますが、この中の三つの調査の解析を平田委員がご担当されているということでございますので、平田委員、何か補足などございましたらお願いします。

- 平田委員 平田でございます。

私の方で2番目、4番目、6番目、患者調査、それから障害児（者）の調査、それか

らかかりつけ歯科医機能についての調査の解析を担当させていただいております。今鋭意今取りまとめ中でございますので、もう少々お待ちいただければと思います。

この調査でございますが、当初より、全部新型コロナのせいにはいけないわけですが、調査自体が本当にうまくいくのかどうか危惧されていたところでございますが、特に私の担当させていただいた調査項目につきましては、東京都歯科医師会、各地域の歯科診療所の先生方、それから障害者の施設の方々等の多大なるご尽力をいただきまして、当初予定よりも多くの回答をいただけるような状況でございました。

これは、この「いい歯東京」の達成度調査、それから次期計画策定に向けて非常に貴重なデータをいただけたというふうに思っております。きちんと解析をした上で、次期計画に向けて準備を進めてまいりたいと思っております。以上でございます。

○笹井座長 本件については事務局の先ほどの説明の中でも、事前にいただいたご質問について補足をしていただきましたが、ほかにご意見やご質問がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

では次に（２）協議事項、令和４年度及び令和５年度歯科保健医療関係事業についてでございます。

事務局より、歯科保健医療関連事業及び８０２０運動推進特別事業についてご説明をお願いいたします。

国庫補助事業である８０２０運動推進特別事業の実施におきましては、協議会の開催が義務付けられているということでございますので、当協議会がそれを兼ねておりますので、当協議会において、お諮りすることとなっております。本件については、最後にお諮りしたいと思っております。

では、事務局からお願いします。

○事務局 それでは、令和４年度及び令和５年度に実施いたしました歯科保健医療関係事業についてご説明をさせていただきます。

まず、資料５－１をご覧ください。１枚目につきまして、今年度実施いたしました歯科保健医療関係事業の実施結果となっております。

１の研修・普及啓発等について、まずライフステージに応じた歯と口の健康づくりの推進についてです。この後ご説明させていただきます、東京都歯科医師会へ委託いたしました８０２０運動特別推進事業として実施した研修事業である、多数歯う蝕のある子供たちに対する支援のための歯科医療従事者向け研修会と、多職種向け食育支援講習会を実施したところでございます。

また、乳幼児期の保護者向けに歯みがきの重要性や日常的な歯みがきを習慣化してもらうことを目的に、リーフレットとカレンダーを令和３年度に作成したのですが、今年度、各区市町村の保健所等へ配布しました。作成したリーフレット等は、参考資料１－１から１－８が該当になりますので、後ほどご覧いただければ幸いです。

続きまして、在宅歯科医療の推進についてです。

まず研修事業といたしまして、こちらも8020運動推進特別事業として、歯科医療従事者向けの在宅歯科医療研修会と、介護職向けの在宅歯科医療研修会、そして特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会が主催いたします東京都主任介護支援専門員研修の一枠として「在宅歯科診療」を実施いたしました。

また、普及啓発の一環として、平成30年に在宅療養者の日常的な口腔ケアを支える家族や介護職の方が、口腔内の変化に気付くきっかけを提供する目的で作成した「多職種で支える在宅療養者のためのチェックシート」について、チェックした内容に関する説明やその後の対応を更に明確化するため、今年度内容を改訂し、都内歯科診療所や区市町村保健所へ配布しました。改定したシートは、参考資料2としてお送りしているところです。後ほどご確認をお願いいたします。

続きまして、周術期口腔ケアの推進についてです。

周術期口腔ケアの重要性や周術期における歯科治療、口腔ケアの専門的知識等を付与する歯科医療従事者向けの研修として、導入コースを2回、基礎・応用コースを3回実施しました。また、周術期口腔ケアに関する地域での医科歯科連携の強化に向けた取組として、本日、近隣の歯科医師会と連携を深めるため、定期的に会合を持ち、双方間で患者を紹介する際の注意点を共有する等、現在、円滑に医科と歯科の連携を図っている都立駒込病院の先生に、その取組を好事例の紹介として講演していただきます。

続いて、地域で支える障害者歯科医療の推進についてです。

こちらは、都の歯科医師会を指定管理者として運営しております、都立心身障害者口腔保健センターが主催する各研修として実施をしているところでございます。実施した研修につきましては、参考資料4として研修案内を掲載しております。後ほどご確認をお願いいたします。

最後は、先ほどご案内させていただきました、東京都歯科保健推進計画の達成度調査の実施となります。

以上が、令和4年度に実施いたしました歯科保健医療関係事業のご説明となります。

続きまして、令和5年度歯科保健医療関係事業の予定を掲載しております。次ページになります。

2点ございまして、1点目が先ほどのとおり研修・普及啓発事業、ご覧のとおりとなっております。

2点目が、先ほどご説明した東京都歯科保健推進計画の改定に向けた作業・取組です。ご説明・ご報告は以上となります。

○笹井座長 では、本件について、事前にご意見やご質問をいただいているようでしたら、事務局からご説明をしていただきたいと思います。

○事務局 事前に今回、ご意見・ご質問を2点いただいているところでございます。こちらのご案内とご回答をさせていただきたいと思います。

まず1点目につきまして、資料5-1をご覧ください。

令和4年度、令和5年度の歯科保健医療関係資料についてになりますが、このうち、介護職向けの在宅歯科医療研修の実績についての質問がございました。

内容としましては、介護職のための在宅歯科医療研修の実績として、都内の介護職の皆様の数と比較したときに、受講者数が少なく感じるところですということで、アーカイブ配信等を含め、実施方法について、東京都としてどのように考えているのかというところと、研修案内の周知の対象や研修生の選定はどのように行っているのですかというご質問をいただいたところでございます。

まず、録画研修についてです。アーカイブで公開することで、より受講生の状況に応じた受講が可能になることで、更に受講していただく方を増やすことができるのではないかとご意見でございますが、おっしゃるとおりと考えておりまして、日時や場所を限定せずに、一定期間、研修生が自由に受講できる環境を提供することにより、より多くの介護職の方に学習機会を提供するということが可能になると考えられます。

ただ一方で、研修教材や登壇者など、著作権の問題や一定期間の公開が難しい場合がございます。また、双方向のオンライン研修を実施することによって、リアルタイムでの質疑応答や登壇いただく先生の発言などのやり取りが可能になることで、より高い学習効果を生み出すこともあると考えておりますので、その実施方法については、研修の目的や内容などを踏まえまして、選択し、実施していきたいと考えております。

研修の開催案内の周知対象につきましては、こちらの在宅歯科医療推進事業の取組が、都内の12圏域の介護保険施設などを対象に、一定期間、3年間かけて実施するという形で行っておりまして、毎年度、区部2圏域、多摩2圏域といった周知範囲を設定して募集を行っております。

ただ、各研修とも定員に達していないという状況ではございますので、その周知方法であったり研修内容等につきましても、登壇講師の意見や研修生のアンケートなどを踏まえまして、随時改善を図っていきたくと考えてございます。

○笹井座長 ありがとうございます。続いてお願いします。

○事務局 続きまして2点目につきまして、東京都立心身障害者口腔保健センターの研修会に対する質問をいただいております。こちらが参考資料3に当たります。口腔保健センターで実施する研修については、実施方法として集合型、ウェブ形式によるライブ開催との2種類があるが、研修実施方法をどのように判断しているのか教えていただきたい。また、講義型で双方向でないのであれば、録画配信を一定期間行う方法もあるが、今後そうした方法も考えているかも差し支えなければ教えていただきたい。というものです。こちらについても、先ほどの在宅歯科医療研修と同様に、集合型・オンライン型の決定に当たっては、研修目的や研修内容に基づき、口腔保健センターや登壇講師が判断しています。また、アーカイブとしての公開についても、先ほど同様、講師や口腔保健センターと協議、検討の上、判断していきたいと考えております。ご説明と回答につきましては以上になります。

○笹井座長 ありがとうございます。そのほか、ご意見やご質問がございましたらお願いいたします。

では続いて、資料5-2の令和4年度及び令和5年度東京都8020運動推進特別事業についてでございます。事務局からお願いいたします。

○事務局 それでは、資料5-2をご覧ください。

1枚目に、令和4年度8020運動特別事業として実施した内容を掲載させていただいております。

内容としましては、多職種向けの食育支援講習会を1回、歯科医療従事者向けの在宅歯科医療研修会を年3回、歯科医療従事者向けの多数歯う蝕のある子供たちに対する支援に関する研修会として1回開催しております。

続いて資料の2枚目、こちらが令和5年度の東京都8020運動特別事業の実施計画の案となっております。こちらにつきましても、前年度同様に多職種向け食育支援講習会の実施、在宅歯科医療研修会、そして、多数歯う蝕のある子供たちに対する支援に関する研修会を引き続き実施させていただきたいと考えているところでございます。

事務局からのご説明は以上になります。

○笹井座長 ありがとうございます。

この件は、東京都歯科医師会への委託事業ということでございますので、東京都歯科医師会の勝俣委員、何か補足などございますか。

○勝俣委員 ご指名ありがとうございます。それでは、ちょっと補足させていただきます。

令和4年度の8020運動推進特別事業につきましては、過去最多の新規陽性者を記録した新型コロナ第7波の影響及び社会的な要請に鑑み、三つの事業全てにおいて、ウェブでのライブ配信で行いました。

この結果、研修会、講習会の参加者は前年度の50%増ということになりまして、依然としてウェブ配信の需要が高いことが分かりました。

次年度につきましては、ウェブライブ配信を基本としますが、一方で、対面で質疑応答が活発にでき、そのほうが参加者の理解が進むと思われる事例・事業、例といたしましては在宅歯科医療研修会における保険請求を扱った回等については、対面でも同時に行うハイブリッド開催も視野に入れていきたいと思っております。以上です。

○笹井座長 ありがとうございます。

この件については事前のご意見はなかったということですので、皆様から改めましてご質問やご意見ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。ウェブ形式での展開がこれからは一層進んでいくのかなというところでございますか。

では、議事については以上でございます。ありがとうございます。

それでは、歯科保健医療の取組及び8020運動推進特別事業の令和4年度の実績、5年度の取組予定につきまして、今までご議論いただいたところでございますけれども、

ここで皆様にお諮りしたいと存じます。ご承認ということよろしいでしょうか。

(異議なし)

○笹井座長 ありがとうございます。では、ご承認いただいたということとさせていただきます。ありがとうございます。

では、議事については以上となります。最後に全体を通しまして、委員の皆様から何かご意見やご質問がございましたら、どうぞご遠慮なくお願いいたします。

よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

ではよろしければ、進行を事務局にお返しします。皆様、ありがとうございました。

○田村歯科担当課長 それでは委員の皆様方、本日はウェブ開催で行き届かなかった点もあったかと思えますけれども、円滑な進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

本日出ましたご意見等を踏まえまして、今後の事業、また次年度の計画改定を踏まえた作業を進めさせていただきます。

議事録の取扱いでございますが、今後、会議録、当日の資料については、東京都のホームページで公開してまいりたいと考えております。後日、会議録をお送りさせていただきますので、その際にご確認をお願いいたします。

それでは皆様、本日はどうもありがとうございました。

(午後 2時36分 閉会)